

トリダブルってなあに

市川市バドミントン協会 H22.5

● トリダブルとは？

3人で1チームを作り、駅伝式交代制で順番にダブルスを行います。
正式名称は「トリオ'sダブルス」。これを略して「トリダブル」と言います。
平成21年に市川市バドミントン協会が発案し、市川市で始まりました。
* 各エンドに3人ずつ入るトリプルスとは異なります。



● 組み方

男女の組み合わせ方法によって、4種類があります。

- | | | |
|------------------|-----------|----------------|
| ① オールメンズ (AM) | 男性3人 | MD → MD → MD |
| ② ミックスメンズ (XM) | 女性1人+男性2人 | Mix → Mix → MD |
| ③ ミックスレディース (XL) | 男性1人+女性2人 | Mix → Mix → LD |
| ④ オールレディース (AL) | 女性3人 | LD → LD → LD |

● 試合方法

試合方式は、ラリーポイント制、45点1ゲームマッチ（延長最大50点）です。
1ゲームは、第1、第2、第3ステージで構成されます。
第1ステージは15点先取で終了。点数をそのまま引き継いで、第2ステージは30点まで。
最後の第3ステージは、45点先取でゲームオーバーとなります。
(44点オールからは2点先取制で50点まで)

選手を交代順に 1人目= トップ, 2人目 = キーパー, 3人目=アンカーと呼びます。
つまり第1ステージはTとK、第2ステージはTとA、第3ステージはKとAがペアになります
*以降、説明のため、便宜的に トップ=T、キーパー=K、アンカー=Aとします。
(また、男性一人女性二人のミックスレディースの形式にて説明します)



● 審判について

主審は当事者以外の第3者が担当します。
線審は当事者のうち、コートに入っていない者が必ず担当します。
* 正しくジャッジした後、一言程度の応援やアドバイスを認めます。

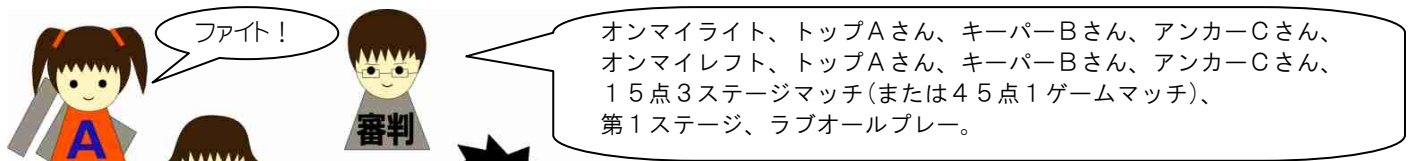


● 試合の流れ

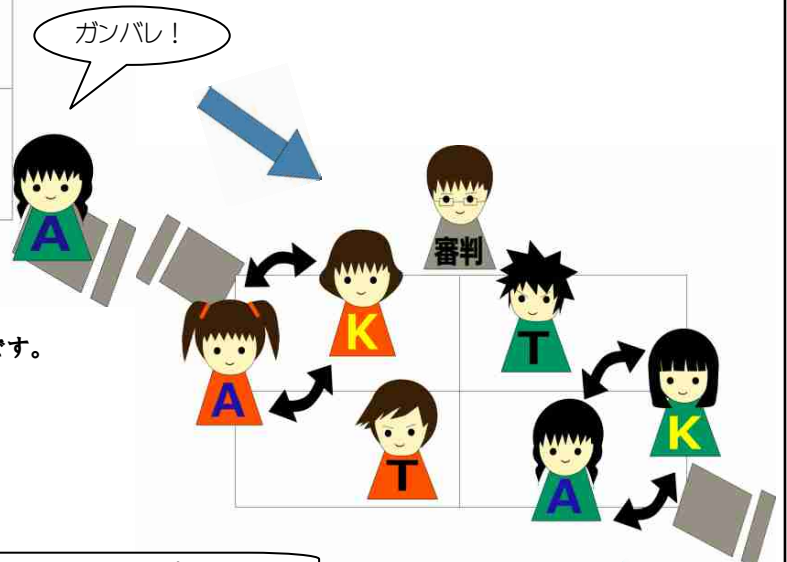
主審寄りにT、K、Aの順に並び、3人で握手をし、代表がトスをします。
一旦エンドが決まるとゲーム終了までチェンジインズはありません。(チェンジすると混乱するため)
※注意 : ステージ間にインターバルはありません。握手や1本練習もありません。

① 第1ステージ：15点まで

- ・トップ (T) とキーパー (K) の2人がコートに入り、通常のダブルスゲームをします。
- ・Aは自コート側の線審に着席します。(正しくジャッジした後、一言程度の応援やアドバイスを認めます。)



- ・どちらかが15点を取ったら、第1ステージは終了です。すみやかにKとAが交替します。

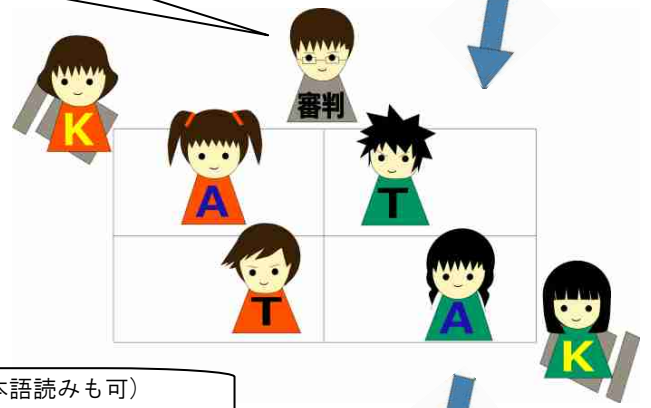


② 第2ステージ：30点まで

- ・得点や左右の位置を継続して、TとAの2人でプレーします。
- ・Kは自コート側の線審に着席します。

第2ステージ、15-x プレー。

- ・どちらかが30点を取ったら、TとKが交替します。



③ 第3ステージ：45点まで

(延長の場合は最大50点まで)

- ・得点や左右の位置を継続して、KAの2人でプレーします。
- ・Tは自コート側の線審に着席します。
- ・どちらかが45点を取ったらゲームオーバーです。
- ・44点オールの場合は延長となり、2点リードで最大50点とします。

第3ステージ、30-y プレー。(20点以上は日本語読みも可)

マッチワンバイ勝者名、45-z。



● 参考：より楽しむために

- ① トップ、キーパー、アンカーのレベル配置は、 $T < K < A$ が最も有利です。従って団体戦のように、その都度順番を変える必要がありません。個人戦として扱います。
- ② 駅伝のようなもので、何点差でバトンタッチするかが重要です。チーム内でのレベル配置だけでなく、いかにリードを保ったままアンカーまで繋げるか、が勝敗を分けます。
- ③ ステージごとの選手交代にもたつかないように、線審しながら交代の準備を意識すること。ロスタイムが無くスムーズに継続すると、ますます盛り上がります。